

～ 未来への県土づくりへ “つなぐ” 復興の架け橋 ～

# 今泉大橋 NEWS

## 【Vol.6】

令和3年7月発行

編集：岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター



岩手県が「まちづくり連携道路」として陸前高田市で事業を進めている**一般国道340号今泉大橋工区**について、「**事業の見える化**」の取組みとして、現在の工事進捗状況や最近のトピックについて**お知らせ**します。

### 今泉大橋工区 気仙川右岸側の路床盛土が完了しました！！

主要構造物である今泉大橋 (L=280.3m) については、令和3年4月に橋梁上部工工事が完成していたところですが、並行して**気仙川右岸側**で進めていた道路改良工事のうち、**路床盛土工事**が完了しましたのでお知らせします。今後は気仙川右岸部の**排水構造物工**や**舗装工**、**区画線工**等を進め、早期の供用に向け、安全に万全を期し工事を進めていきます！！

#### 右岸側の施工状況 (受注者：㈱長谷川建設)



#### 【拡大写真】 路床盛土の施工状況



【撮影日：令和3年7月16日】

#### 事業概要図



【現場紹介】道路改良舗装その3工事に携わった技術者紹介：菅原真也さん [受注者：株式会社平野組]

当該工区のうち、気仙川右岸部の道路改良工事が竣工を迎え、無事故・無災害で工事が完了しました。今回、本工事に携わった(株)平野組 菅原さんにインタビューしましたので紹介します。

【Q1】今回の工事で大変だったことを教えてください。

A1：隣接工事に伴い日々現況が変化中、工程調整及び人材や資材の確保に苦勞致しました。又、地形的な条件により、水が集中される区域であるほか地下水位も高く、水処理をしながらの施工に大変苦勞致しました。今回の現場にて、ハット型鋼矢板の圧入打込みが困難な状況となったことが一番難しい難題でした。

【Q2】これまでに携わってきた工事について教えてください。

A2：一般国道397号(仮称)新小谷木橋下部工(その3)工事  
(基礎工<ニューマチックケーソン>3基、橋脚工(壁式橋脚)3基、  
発注者：岩手県)

一般国道397号(仮称)新小谷木橋下部工(その4)工事  
(基礎工<ニューマチックケーソン>3基、橋脚工(壁式橋脚)3  
基、発注者：岩手県)

【Q3】菅原さんにとって「土木」とは？ 土木の道を目指す学生・高校生の皆さんに「魅力」を教えてください。

A3：人々の暮らしを守り、より豊かな生活に貢献できる事です。そして、道路、橋、護岸など造った構造物が残り、完成後に「自分が携わった」と家族や知り合いに見せられる事です。

【Q4】3.11から10年目の節目である今年、「復興五輪」と位置づけた東京オリンピック2020が開催されています。注目する競技はありますか？被災地である岩手から、世界中のみなさんに伝えたいことはありますか？

A4：娘が水泳を頑張っているのが競泳が楽しみです。それと、私も小学校から野球をやっていたので、競技復活となった野球でメダルを取ってほしいと思います。

今年は、震災から10年の節目となります。3.11で被災した日本に対する支援をしてくれた世界中の人々に感謝を伝えられたら嬉しいです。今は、いろんな事が難しい状況ですが、みなさん「安心、安全、健康」で頑張りましょう！！

【Q5】供用を待つ陸前高田市民の皆様にメッセージをお願いします。

A5：工事中的ご協力ありがとうございます。昔以上に、便利で快適な道路をご利用いただける用にどの会社も全力で頑張っております。一日でも早く皆様にとっての復興が現実のものとなりますように。



(株)平野組 監理技術者 菅原さん  
～ (株)平野組 施工区間にて～



～ 菅原さん、ご回答ありがとうございました ～

【問合せ先】

岩手県 沿岸広域振興局土木部  
大船渡土木センター道路整備課  
〒022-8502 岩手県大船渡市猪川町字前田 6-1  
電話番号：0192-27-9932(内線 266)

